

## 第1回葛飾区都市計画マスタープラン策定委員会 議事概要

日 時:平成21年10月7日(水)午後1時~3時

場 所:区役所705・706会議室

出席者:別表参照

### 議事内容

#### 1. 開会

事務局より、委嘱状を机上配布してあることを説明したのち、配布資料の確認を行い、委員会の内容を公開するため、写真撮影、録音等することの了承を得た。

#### 2. 副区長あいさつ

#### 3. 委員の紹介

資料1の委員名簿順に、自己紹介方式で行った。

#### 4. 委員長の選任・副委員長の指名

事務局より、資料2の都市計画マスタープラン策定委員会設置要綱第5条第2項により委員長の選任について伺い、首都大学東京大学院教授である中林一樹氏が委員長に推挙され、委員長が千葉大学大学院教授である木下勇氏を副委員長に指名し、委員長があいさつを述べた。

#### 5. 議事

事務局より以下の資料説明を行った後、意見交換を行った。

- (1) 資料3 都市計画マスタープランとは
- (2) 資料4 都市計画マスタープランの策定体制と策定スケジュールについて
- (3) 質疑 発言はなかった
- (4) 資料5 区全体の概況
- (5) 資料6 区内で進められている街づくり事業などについて
- (6) 質疑 発言はなかった
- (7) 資料7 第1回・第2回地域別勉強会開催報告
- (8) 資料8 区民アンケート調査結果について
- (9) 資料9 都市計画マスタープラン改定にあたっての論点
- (10) **意見交換**

委員：地域別勉強会の報告で、参加者は公募や連合町会などの推薦によって行ったとありましたが、各地域で平均何人という基準があったのでしょうか。また、推薦の場合は、どのような基準で選んだのでしょうか。

事務局：地域別勉強会はワークショップ形式で行うことから、1地域20名を目標にし、公募の方については5名程度としました。今回は、特に立石・四つ木地域から5名以上の応募がありましたが、応募者全員の方に参加していただい

ています。また、推薦については、各連合町会の他に街づくりの勉強会をされている団体に推薦をお願いしました。

委員長：公募は広報を通じて行ったのですか。

事務局：広報とホームページを通じて行いました。

委員：「人情」という言葉が出てきますが、「人情」という言葉だけを使うのは良くない。ただの「人情」ではなく「下町人情」と入れていただきたいと考えています。「下町」を入れることによって、江戸時代の下町のイメージが出てくると思います。

委員長：人情という言葉については、前回の策定の際に相当の議論があり、キャッチフレーズを「安心して住み憩い働き続けられる川の手・人情都市かつしか」としましたが、「川の手」という言葉が用いられたのにも議論があったようです。「下町」を入れると「下」に置かれているようだという話もあり、「山の手」に対して「川の手」とのことで、「川の手の人情」というつもりであったのだと思います。このようなキャッチフレーズについても見直しの範囲と考えてよろしいのでしょうか。

事務局：今回の改定は、10年目の見直しであることから、骨格となるものについては、基本的に継承していきたいと考えています。キャッチフレーズについても基本的には継承させていただきたいと思っておりますが、必要であれば議論すべきと考えております。

委員長：今回は見直しであり、見直していった中で、より相応しい名前があれば、そこをどうするべきかなど、最後のところでまた議論をさせていただければと思います。

委員：「葛飾区のイメージである「人情」を」（資料9の7）というような表現は良くありません。「まちづくりにおける、人と人のふれあいの人情」という表現や「川の手」や「下町」など、何らかの言葉を「人情」の前に入れていただきたいと思います。

事務局：今後は「人情」の前に、何らかの言葉を入れるようにしたいと思います。

委員長：私も若干の見逃しをしていましたが、「人情」だけが葛飾のイメージではないでしょう。イメージの1つかもしれませんが、ご趣旨はよく理解させていただきましたので、この点を踏まえて今後は進めて行きたいと考えます。本日は、第1回目ということで、10年間の中でどのようなまちづくりが進んだか、また、見直しにあたって、かなり詳細な区民アンケート調査を実施した結果のさわりを紹介させていただきました。10年前には、国の強い働きかけもあり、各区・市が都市計画マスタープランを策定する際には大掛かりな住民参加を行っていました。今回のような見直しの際に、他の区・市によっては、かつてのような規模で住民参加を行っていないと聞いていますが、

葛飾区では、前回と同じような水準で住民参加をしているところです。策定委員会にも住民代表の方に委員としてご参加いただいておりますが、よりオープンにするため、区民の方が傍聴できるようにしたいと思いますので、「傍聴要領（案）」を事務局より説明してください。

事務局：（事務局より要領（案）の条文について説明）

その他に、条文には記載していませんが、都市計画マスタープラン策定に関わる分科会等の傍聴にあたっては、この要領（案）を準用したいと考えています。

委員長：事務局より補足がありましたが、要領に、「その他会議の傍聴に関して必要なことは委員長が定める」とあり、策定委員会と並行して行っている地域別勉強会についても希望者がいれば、同じルールで傍聴できるようにさせていただきたいと考えています。要領はこのままとしますが、本日の議事録にはこの件を記録し、区民の方から問い合わせがあった際には傍聴を認めるように運用したいと思いますがいかがでしょうか。

（異議なし）

委員：委員長のご提案に賛成です。その方が、葛飾にとっては良いことだと思います。

委員長：皆様から賛同を得ましたので、次回以降の策定委員会だけでなく地域別勉強会についても区民周知のうえ、希望者の方には事前又は当日申し出をしていただき、このルールに基づき傍聴していただくこととします。ただ、会場の都合で全員に傍聴いただけない場合もあるかと思われますので、適宜運用させていただきます。本日の議事は以上ですが、その他に、ご意見ご要望はありますか。

## 6. その他

- ・ 事務局より、公開資料として議事録の概要を作成し、各委員に確認後、公開することの了承を得た。発言者は、「委員長」「委員」「行政委員」といった名称とする。
- ・ 次回開催は、平成 21 年 11 月 17 日（火）午後 2 時から、ウィメンズパル 1 階多目的ホールで行うことを報告する。

## 7. 閉会

別表

## 葛飾区都市計画マスタープラン策定委員会委員名簿

平成21年10月7日現在

## 学識経験者

出席

ナカバヤシ 中林	イツキ 一樹	首都大学東京大学院教授	
キノシタ 木下	イサミ 勇	千葉大学大学院教授	
クボタ 窪田	アヤ 亜矢	東京大学大学院准教授	
チョウ 長	ユウジ 裕二	元東京都都市計画局長	
オオツカ 大塚	ヨシヒコ 順彦	元葛飾区都市計画部長	

## 区民団体等の代表

カラマツ 唐松	テルオ 輝雄	葛飾区自治町会連合会副会長	
ノカワ 信川	ジンドウ 仁道	東京商工会議所葛飾支部会長	
キクチ 菊地	ヒデハル 英晴	葛飾区工場団体連合会副会長	
ナカガワ 中戸川	シンペイ 進平	葛飾区商店街連合会会長	
キグレ 木暮	リュウイチ 隆一	東京スマイル農業協同組合代表理事組合長	
ヤモオカ 谷茂岡	マサコ 正子	葛飾区消費者団体連合会会長	
ツカダ 塚田	カズコ 和子	かつしか女性会議	
シミズ 清水	マサロク 正六	葛飾区民生委員児童委員協議会会長職務代理	
サトウ 佐藤	コウイチ 光一	葛飾区障害者福祉連合会会長	
ナカ 仲	ヒロヒト 浩一	葛飾区小学校PTA連合会会長	
アキヤマ 秋山	カオル 薫	葛飾区中学校PTA連合会	
ミヤモト 宮本	ヒロヨシ 博喜	葛飾区青少年委員会	
ウラオカ 浦岡	ヒデツグ 秀次	葛飾区青少年育成地区委員会会長連絡協議会会長	
カナザワ 金沢	ミチオ 美知夫	葛飾区体育指導委員協議会会長	

## 行政委員

カシワザキ 柏崎	ヒロキ 裕紀	政策経営部長	
タカハシ 高橋	マサアキ 成彰	地域振興部長	
カケイ 寛	コウイチ 晃一	産業経済担当部長	
タカハシ 高橋	ツネオ 常雄	環境部長	
スズキ 鈴木	アキヒト 昭仁	福祉部長	
カシマタ 鹿又	ユキオ 幸夫	子育て支援部長	
クニ 久野	セイフク 清福	都市整備部長	
クニ 丹	タモツ 保	都市施設担当部長	
ウチヤマ 内山	トシユキ 利之	教育委員会次長	